

1. 件 名：電気設備の機器認定に係る新規 IAEA 文書に関する情報交換
2. 日 時：令和 5 年 10 月 30 日(月)15 時 00 分～16 時 25 分
3. 場 所：オンライン
4. 出席者：

原子力規制庁

長官官房技術基盤グループシステム安全研究部門

皆川主任技術研究調査官

池田技術研究調査官

一般社団法人原子力安全推進協会：1 名

MHI NS エンジニアリング株式会社：2 名

#### 5. 要旨

国際原子力機関（以下「IAEA」という。）では、原子力発電所の設計拡張状態（以下「DEC」という。）を考慮した機器認定に関する新たな技術文書作成に着手しており、日本からは、一般社団法人原子力安全推進協会（以下「JANSI」という。）及び MHI NS エンジニアリング株式会社（以下「MHI NS」という。）がメンバーとして当該技術書作成に関する会合に参加している。今回の面談では、JANSI 及び MHI NS より、報告書の中で作成担当となっている項目「機器認定に係る国内の規制要求」、「性能要求」、「環境条件と認定機器の状態監視」及び「認定機器の定期的サーベイランス」の作成の考え方について説明を受けて議論した。現時点では関連する IAEA ガイド「Specific Safety Guide No. SSG69 Equipment Qualification for Nuclear Installations」（以下「SSG69」という。）のうち、特に DEC の機器認定に係る部分に着目してより詳しく作成することとしているが、IAEA における次回以降の会合において、技術文書の位置づけや、SSG69 との関係も踏まえて、報告書全体で記載方法や記載内容を調整していくことが必要である等の議論があった。今後の技術文書の作成状況を踏まえ、必要に応じ、引き続き意見交換を行うこととした。

#### 6. その他

資料：なし